



# 第64号

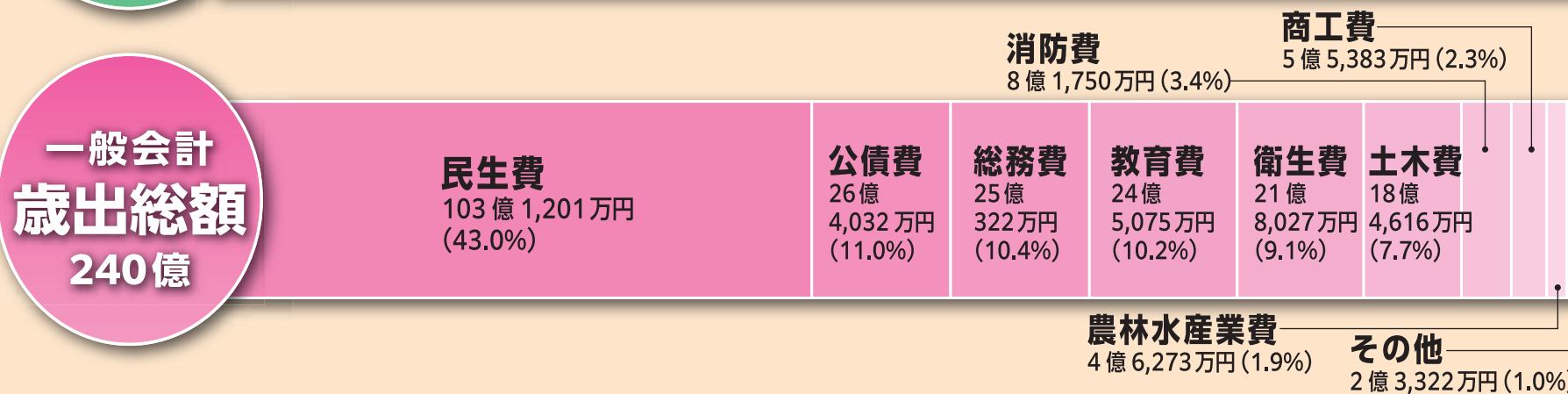
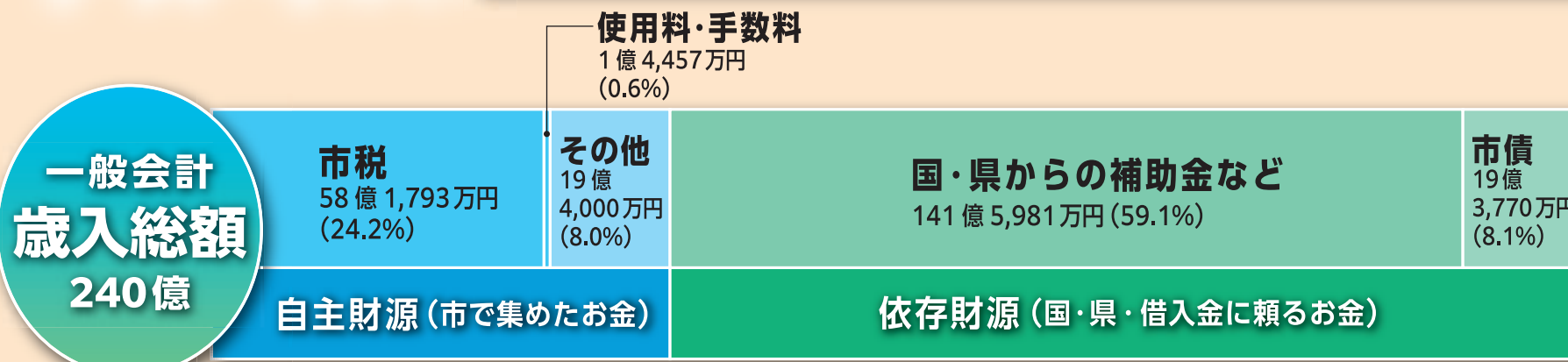
## 今号の主な内容

- 予算審査……………①～④
- 議決一覧……………⑤
- 一部事務組合 / 会派代表質問……………⑥～⑦
- かっこうのさえずり / 今後の予定など……………⑧

発行責任者：滝沢市議会議長  
編集：広報常任委員会

# 令和8年度 予算可決!

一般会計当初予算……………240億円  
特別会計(国民健康保険等4件)…101億9,167万円



## 歳入審査

### 《市民税個人分》

**【問】** 税収増の要因は。  
**【答】** 厚生労働省の毎月勤労統計調査をもとに、岩手県の平均現金給与総額の伸び率および7年度の年金改定率の増を加味したものです。

### 《市民税法人分》

**【問】** 税収増の要因は。  
**【答】** 7年7月から9月期の法人企業景気予測調査を参考に算定しました。

### 《固定資産税》

**【問】** 税収増に中心拠点商業地区の影響はあるか。  
**【答】** 宅地への地目変更により、約400万円増収になっています。

### 《地域農業計画実践支援事業費補助金》

**【問】** 約450万円の増額の要因は。  
**【答】** 県の単独事業であり、農業機械や施設の導入などの補助の増です。

### 《財政調整基金》

**【問】** 繰入金的大幅増の要因と財政への影響は。  
**【答】** 物価高騰や人件費増に加え、情報システム仮想基盤の更新など、一般財源負担の大幅増が要因ですが、取崩しを上回る積立てを見込んでおり、財政への影響はないものと捉えています。

### 《地域整備特別対策事業基金》

**【問】** 繰入金的大幅増の要因と財政への影響は。  
**【答】** 施設の整備や設置、改修などの増であり、今後も多額の出費が予想されるため、財政状況を鑑みながら先を見据えて対応します。

### 《総務債借換債》

**【問】** 前年度比約10億円増の要因は。  
**【答】** 平成27年度から28年度にかけて、ビッグルーフ滝沢の起債として約16億円借入れし、30年償還となっていますが、10年ごとに借換えが必要であり、8年度に一旦全額償還するため増えたものです。

# 歳出 産業建設分野

所管事務調査に係る質疑

## ●滝沢市私道等補助事業

Q:整備箇所が1箇所という目標値は妥当か。

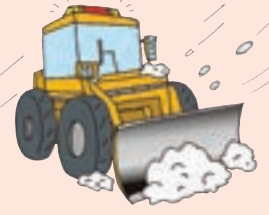
A:補助金の申請は、全て申請者側の実施となります。しかし、不慣れな方が多く、その一連の流れに対し職員が伴走支援をしています。申請から工事完了まで相当な期間がかかり、職員の体制から1件が妥当と考えています。

Q:補助金交付要綱の市民への周知は充分か。

A:ホームページでの周知のほかに懇談会や電話、窓口で制度の説明を行っています。所有者や沿線に住んでいる方には浸透していると捉えています。

## ●私道除雪事業費補助事業

Q:補助金交付要綱の市民への周知は充分か。



A:ホームページおよび広報で周知を行い、充分であると捉えています。

## ●市道等維持管理事業

Q:要望、苦情件数をどのように分析し、事業を展開するのか。

A:要望は、特に児童生徒の通学路への安全対策に関することですが、区画線が消えた、区画線を増やして欲しいというのものが多です。維持修繕費の中でも交通安全に要する費用を確保し、交通安全施設等改善要望をはじめとした要望への対応に努めます。



予算審査に係る質疑

## ●地域公共交通維持確保事業

Q:新コミュニティバス本格運用後の年間利用者数、目標値6,000人の算定根拠は。

A:現行福祉バスの年間利用者数が6年度実績で約3,000人と年々減少する状況ですが、再編によって効率化され利便性が向上します。さらに中心拠点商業地区の施設などもオープンすることから、利用者の増加を見込み、6年度の実績である3,000人の約2倍の利用者数を目標としました。



## ●有害鳥獣対策事業

Q:電気柵設置補助上限額および補助率で目標値(農作物被害額:100万円)が達成できるのか。

A:電気柵は管理が大事であり、設置後の指導も含めて被害額を抑えるよう努めます。

## ●企業誘致事業

Q:雇用の場の確保に向け、どのような誘致活動を実施する予定か。

A:現在、滝沢市IPUイノベーションセンターおよびイノベーションパークを中心に誘致活動を進めており、IT企業だけではなく、ITに親和性の高い産業分野の企業などの誘致に向け活動を行います。

## ●若者活躍の場づくり推進事業

Q:若者世代に対する移住定住の取り組みは。

A:首都圏を中心としたU・I・Jターンに関するイベントや相談会に参加するとともに、滝沢市出身者や滝沢市にゆかりのある方、滝沢市に興味のある首都圏在住者などを対象に交流会を今後開催する予定です。

## ●観光施設管理運営事業

Q:キャンプ場および、たぎざわ自然情報センターの目標値の設定根拠は。

A:これまでの実績値を参考に設定をしています。7年度のキャンプ場利用者数は、天候不順や熊の出没などで3,000人でした。8年度以降は4,000人を目標に進めています。自然情報センターは4,000人であったため、期待値を含めて5,000人と設定しています。若手山の火山活動もある程度見込みがつき、本年7月には東側コースの入山規制が解除される予定であり、利用者数が増えると考えています。

## 総括的質疑

### ●児童交流、シビックプライドについて



画 つながりを支え合う地域づくり、安全で安心なまちづくりおよび自然と共生した生活環境づくり等について、本市の児童に対する市民環境部門の予算は。答 自然環境の学習や安心のための交通安全教室に専門員が各学校に出向き、自転車の乗り方などを教えています。これらの予算は市民環境部が担っています。

### ●公共施設などに対する維持管理について



画 公共施設などの管理に関する基本的な方針「縮充」の中で、管理者、地域住民および専門技術者対話を通じて政策形成をプロセスする対話型政策形成を図る活動が重要と考えるが、8年度予算に考慮されているのか。答 全庁的に予算としては計上していませんが、8年度の公共施設総合計画の見直しの中で検討することを考えます。

### ●避難行動要支援者への支援体制について



画 本市の避難行動要支援者名簿の整備状況と、地域で作る個別避難計画の作成状況は。答 7年12月末現在で、避難行動要支援者名簿の登録者は1400人であり、個別避難計画の作成者は11人です。

### ●産業政策と若者定住について



画 若者の市内就職や雇用創出に対する目標および指標は。答 本市では、若手県立大学周辺へのIT関連企業の集積と、広域的な視点での人材育成や企業と若者のマッチングを目標としています。指標は、滝沢市IPUイノベーションセンター、パーク立地企業への就業状況を定期的に確認することで、これを本市の雇用創出の動向を示す代表的なものとして活用しています。

画 シビックプライドについて。答 アウトソーシングや

画 長寿命化工事や改修

画 中心拠点商業地区の

画 若者の市内就職や雇用

# 歳出 総務教育分野

所管事務調査に係る質疑

## ●地区コミュニティセンター管理運営事業

Q:地区コミュニティの活性化をめざし、施設の維持管理がライフサイクルコストを意識して適正・的確に対応しているか。

A:7年度に照明のLED化を行い経費削減に努めており、8年度も通常の補修などを見込み適正に対応します。

## ●大釜駅前コミュニティセンター管理運営事業

Q:施設管理業務を担っている組織の会員数の減少など、業務を行うことが難しくなっていることへの代替案は。

A:8年度より市シルバー人材センターへの委託を検討しています。Q:大釜駅は小中学生の通学手段でもあり、夕方だけでなく朝の時間帯の管理も考慮しているか。A:施設管理は下校時間に合わせた午後の時間帯に行っており、朝の管理は予定していません。



## ●滝沢市多目的研修センター管理運営事業

Q:レッドゾーン指定区域となっている施設の今後の方向性は。

A:体育施設がレッドゾーンに該当しており、自治会や利用者の声も聞きながら協議していきます。

## ●文化財・天然記念物保護事業

Q:天然記念物のチョウセンアカシジミの生息地整備に関して、具体的な取り組み内容は。

A:7年度は生息地調査を3回実施しており、8年度は環境整備に向けて、先進地の事例や有識者の情報などを収集します。

## ●総合計画マネジメント事業

Q:滝沢地域社会アンケート調査で、対象年齢を18歳以上から15歳以上に引き下げる検討は。

## ●小学校校舎等改修事業

Q:鶏飼小プールの改修箇所は。

A:8年度は、ろ過装置一式の更新を予定しており、そのほかの劣化部分は数年後に実施する予定です。Q:改修箇所の優先順位の設定方法は。

A:業務委託した劣化診断状況により、優先順位を設定しています。

## ●小・中学校校舎等補修事業

Q:補修工事の内容は。

A:例年の決算事業実績から見込んでおり、学校要望に係る修繕が2割、保守点検による修繕が3割、緊急的な修繕が5割の割合で計上しています。そのほかに、滝沢小中学校の小荷物昇降機制御盤更新工事も予定しています。



## ●地域学習推進事業

Q:沖繩県読谷村との児童交流を切り口とした、幅広い世代の人的交流への考えは。

A:読谷村との交流は8年度以降5年間を予定しており、児童交流や関係者の人的交流を期待しています。

## ●滝沢ふるさと交流館管理運営事業

Q:夏場および冬場に、子どもたちが外でバスを待っている現状の改善は。

A:指定管理者だけでなく、関係課とも協議し、安心できる環境づくりを検討します。



予算審査に係る質疑

## ●子育て家庭支援事業

Q:ヤングケアラーの研修は。

A:県の事業を活用し、子どもと接する機会が多い幅広い関係機関対象の研修会は開催していますが、参加率の向上が課題となります。介護や障がいの関係機関へも対象を拡大しつつ、ヤングケアラー支援の理解の向上に努めます。

## ●子ども子育て支援推進事業

Q:ファミリーサポートセンターの地域の偏りは。

A:小字や自治会単位では提供会員がいない地域もありますが、おおあざの単位では各地域に提供会員がいることから、偏りはないと捉えています。

## ●生活困窮者自立支援事業

Q:家計改善支援で家族介護を主にしているヤングケアラーの把握は。

A:支援の実例もあり、本人だけでなく家族全体の実態を広く深く把握をし、適切な支援へとつなげます。



政策提言に係る質疑

## ●災害時避難行動要支援者支援事業

Q:個別避難計画の策定と情報更新の予定は。

A:避難行動要支援者台帳では1,400人ですが、個別避難計画を策定しているのは11件です。説明会を出前講座のメニューに追加し、地域に向いて計画作成に努めます。情報更新は状況の変化に応じて変更をお願いしています。

## ●重層的支援体制整備事業(包括支援センター運営事業)

Q:委託先の専門員欠員への対応は。

A:委託先の専門員欠員への対応は、業務に支障が出ないよう市直営の包括支援センターでフォロー体制を図ります。Q:今後の包括支援センターの運営体制は。

## ●ごみ減量化推進事業

Q:ごみ減量化に向けた市民への取り組みは。

A:広報やSNSを中心に情報発信をしており、生ごみの減量化、再資源化、3R運動を推奨しています。8年度はプラスチックの分別収集に向けた取り組みを始める予定です。



## ●家族介護支援事業

Q:介護教室参加後の個別相談へのつながりは。

A:会場は地域の包括支援センター中心に実施しており、職員も従事しているため顔合わせも出来ます。

## ●重層的支援体制整備事業(地域介護予防活動支援事業・陸大学)

Q:陸大学の参加者増に向けた方策は。

A:コロナ禍以降、参加者が減少しており、職場の定年延長も主な要因と考えられます。8年度からは介護予防に向けた内容を取り入れて参加者の増に取組みます。

## ●要介護認定調査事業

Q:認定職員欠員時のフォロー体制は。

A:認定申請、調査の件数は増加していますが、現状10名体制で充足しています。欠員にならないよう体制整備を行い、欠員発生時には外部委託も視野に入れ認定が遅れないように取組みます。

者へ説明し、同意を得た上でつなぐシートなどを準備します。その後、所属の園や就学先などへスムーズな連携を図り、切れ目ない支援体制づくりに努めます。



予算審査に係る質疑

## ●乳幼児保健事業

Q:5歳児健康診査後における相談支援の連携体制は。

A:支援が必要とされた子どもは、健康診査結果票(つなぐシート)により保護

# 令和8年3月会議(2月20日~3月19日)議案23件・諮問3件・同意2件を審議

## ●可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

議案第	案件名	概要	単位:千円
1号	8年度一般会計予算	前年度比 1,748,000	7.9% 増
2号	8年度国民健康保険特別会計予算	前年度比 198,226	4.4% 増
3号	8年度後期高齢者医療特別会計予算	前年度比 130,330	20.4% 増
4号	8年度介護保険特別会計予算	前年度比 192,121	4.2% 増
5号	8年度介護保険介護サービス事業特別会計予算	前年度比 173	2.6% 増
6号	8年度水道事業会計予算	前年度比 20,897	1.2% 増
7号	8年度下水道事業会計予算	前年度比 ▲89,406	5.1% 減
8号	7年度一般会計補正予算(第9号)		
9号	7年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)		
10号	7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		
11号	7年度介護保険特別会計補正予算(第5号)		
12号	7年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)		
13号	7年度水道事業会計補正予算(第2号)		
14号	7年度下水道事業会計補正予算(第3号)		
15号	犯罪被害者等支援条例の制定		
16号	特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定		
17号	行政手続条例の一部改正		
18号	子ども・子育て会議設置条例の一部改正		
19号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		
20号	水道事業給水条例及び下水道条例の一部改正		
21号	市道路線の認定、変更及び廃止に関する議決		
22号	7年度一般会計補正予算(第10号)		
23号	介護保険条例の一部改正		

## ●賛否が分かれた議案・諮問

結果	○賛成 ×反対 ※角掛邦彦議員は議長であるため採決には加わりません。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数	
		奥津一俊	菅野福雄	藤原治	佐藤澄子	柳橋好子	日向裕子	安部理絵	村木香織	川口清之	小田島清美	相原孝彦	齋藤明	山谷仁	鎌本桂	井上仁	遠藤秀鬼	日向清一	稲荷場裕	角掛邦彦				
議案第1号	8年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	17	1
議案第2号	8年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	17	1
議案第4号	8年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	17	1
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	18	17	1

## ●人事 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

案件名	名前
諮問第1号	人権擁護委員(適任) 大崎 弘司 氏
諮問第2号	人権擁護委員(適任) 佐々木 則子 氏
諮問第3号	人権擁護委員(適任) 田口 好子 氏
同意第1号	副市長(同意) 高橋 健二 氏
同意第2号	教育委員会教育長(同意) 太田 厚子 氏

## ●一般会計予算に附帯決議を付して可決しました

附帯決議の内容
<p>● 滝沢市公共施設等総合管理計画で示された「縮充」に必要な量の見直しについて、専門的知見を加味した対話型政策形成を構築するため、地域住民、管理者及び専門的知見者等による体制づくりに取り組むこと。</p> <p>● 地域医療体制の確保に向け、中心拠点商業地区の医療ゾーン整備を含めた一次医療圏の充実を図るとともに、在宅医療及び訪問診療の体制強化に努めること。また、医療機関との連携や広域医療圏との協力のもと、在宅医療・介護の連携体制を推進し、夜間・休日を含め、市民が安心して受診できる持続可能な地域医療体制の構築に努めること。</p> <p>● 避難行動要支援者の支援体制強化のため、対象者の台帳登録数の実態把握の促進を図るとともに、地域住民や関係団体と連携し、個別避難計画の作成を着実に推進すること。また、福祉部と市民環境部の連携を強化し、自治会等の地域防災活動と連動した支援体制の構築並びに共通マニュアルの整備と、地域の実情に応じた実効性ある避難支援体制の構築に努めること。</p> <p>● 当初予算案の付属資料である「実行計画書兼事業説明書」について、事業ごとの事業内容及び事業費の概要が把握できるよう、資料の改善を図ること。</p>

# 令和8年度当初予算の

## 新たな取り組み 拡充する取り組み

### 子育て関連

#### ○子ども医療費給付事業

8月診察分から未就学児童の負担がなくなります(高校生等までは一部負担)。

**拡充** 未就学児童医療費給付の拡充

#### ○こども家庭センター運営事業

すべての妊産婦・子ども世帯・子どもへの切れ目のない支援・一体的な相談支援体制を強化します。

**新規** 母子健康手帳アプリの導入

#### ○妊産婦保健事業

妊娠期から子育て期まで安心して過ごせる体制を充実します。

**新規** 産後ケア利用時の兄弟児の保育所など一時預かり利用料の助成

#### ○妊産婦健康診査事業

産前産後の経済的支援と妊産婦の健康保持を支援します。

**新規** 遠方・ハイリスク妊産婦への交通費および宿泊費の一部助成

**新規** 不妊治療費の一部助成



### 教育関連

#### ○地域学習推進事業

子どもたちの体験学習の充実を図ります。

**新規** 沖縄県読谷村との児童交流

#### ○特別支援教育支援員設置事業

特別支援を要する児童生徒への指導の充実を図ります。

**拡充** 特別支援員の追加配置



### 商工関連

#### ○産業人材育成事業

子どもから社会人を対象に将来の産業人材の育成を図ります。

**新規** こども起業体験イベントの開催

#### ○有害鳥獣対策事業

カラス・ツキノワグマ・イノシシ・ニホンジカ等の有害鳥獣による農産物被害と人身被害の防止を図ります。

**新規** 有害鳥獣対策専門員の設置

**新規** 誘引樹木伐採に対する補助金



### 交通関連

#### ○地域公共交通維持確保事業

市民の日常生活に必要とされる地域公共交通の維持や利用促進を図ります。

**新規** 新コミュニティバス実証運行の実施



● 討論

議案第1号 8年度一般会計予算

【反対】川口 清之 議員(会派に属さない議員)
予算は240億円で、前年比7.9%増となっています。
子育て支援の拡充と未就学児童の医療費の軽減化には積極的である反面、子どもの医療費の無償化や市内の中学校の給食費無償化の予算もありません。市内に待機者のいる特養老人ホームの予算もありません。以上の点から反対します。

【賛成】鍵本 桂 議員(自由民主クラブ)
本予算は「つながる滝沢」「こどもまんなか滝沢」「いきいき滝沢」「学ぶ滝沢」「はたらく滝沢」の五つの視点のもと、子育て支援、福祉、教育、産業振興をバランスよく推進するものです。若者の活躍促進や地域の魅力発信にも配慮しており、市民福祉の向上と持続可能なまちづくりに寄与することから賛成します。

議案第2号 8年度国民健康保険特別会計予算

【反対】川口 清之 議員(会派に属さない議員)
市町村が運営する国保は、他の医療保険に加入しない、すべての住民に医療を保障する制度です。国保は誰もが世話になる医療制度であり、本市では約5人に1人が加入している日本最大の医療保険です。
総額は前年度比4.4%増の約47億円で、本制度の改善を進めていくためにも、国保加入者の願いでもある暮らしを成り立たせ、協会けんぽ並みの保険料で、安心して受診できる公的医療制度を求め反対します。

【賛成】村木 香織 議員(自由民主クラブ)
保険給付費に関してはレセプト点検の徹底、重複・他受診者訪問、ジェネリック差額通知などの医療費適正化の取り組み、保険事業においては特定健康診査や保健指導で被保険者の健康増進に努めています。
今後も、気を緩めることなく、国保税の収納率の向上、さらなる医療費の抑制につながる政策に期待し賛成します。

議案第4号 8年度介護保険特別会計予算

【反対】川口 清之 議員(会派に属さない議員)
本予算は、約47億2千万円で、前年比4.2%の増です。提供体制の崩壊という、介護制度の危機が進行しています。地方では、介護事業所が1箇所もない自治体が出てきており、本市でも認定員不足がみられます。
保険料・利用料の負担増にはね返らせることなく、介護職員の処遇改善、介護報酬の増額が必要と考え反対します。

【賛成】安部 理絵 議員(自由民主クラブ)
「第9期滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域包括ケアシステムを深化させるための予算と考えます。
今後も介護保険制度を持続させるため、実施事業の検証、保険料収納率の向上に努めることを要望し賛成します。

かっこうのさえずり No.19 市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。
おみくじ器で滝沢市の名を全国に広めたい 齊藤 忍 さん
【叔父から事業を引き継ぐ】
【滝沢市への思い】
【これからの展望】
私が最も伝えたいこと

～お知らせ～
議会報告会を開催します
詳しい内容・日程は決まり次第、順次更新します。

6～8月の予定
Table with 4 columns: Date, Meeting Name, Date, Meeting Name. Includes dates from 6月4日 to 8月31日.

議会におでんせ!
傍聴者数 3月会議...9名
滝沢市議会 検索
市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。